

# 第51回経済政策勉強会

## 『都市経済学』

課題図書

年収は「住むところ」で決まる  
エンリコ・モレッティ著

# 本日のアジェンダ

---

1. 自己紹介
2. 本書を選んだ理由
3. 課題図書ダイジェスト

# 1. 自己紹介（酒井 聡志）

新しいコト好きの性格のせいか、消費者ニーズの変化や技術革新等によって世の中が変わるメカニズムに関心がある。

## キャリア

- Webベンチャー 事業企画・マーケティング
- 監査法人系コンサル
- プリンシパル投資機能付き戦略コンサル
- 監査法人系M&Aアドバイザー

## 関心事

- マクロの影響因子によって業界構造・事業構造が変わるメカニズム
  - ✓ 技術革新
  - ✓ 消費者ニーズの変化
  - ✓ （新しい美の発見）
    - 美の「乗数効果」

## 2. 本書を選んだ理由

過去の引っ越しの経験により、居住地選択の重要性について身を以て実感した。

### 引っ越しの影響

- 余暇時間の長さも付き合い相手も激変

過去の居住地	余暇時間	飲む相手/頻度
永福町 通勤15分	中	社内/少
自由が丘 通勤30分	中	社内/中
赤坂 通勤5分	多	社外/多
五反田 通勤40分	少	社内/中

### 大前研一の名言

- 「人間が変わる方法は3つしかない」  
(大前研一)
  - ✓ 1つ目は時間配分を変えること
  - ✓ 2つ目は住む場所を変えること
  - ✓ 3つ目は付き合い人を変えること



居住地変われば全部変わります。

### 3. 課題図書ダイジェスト

---

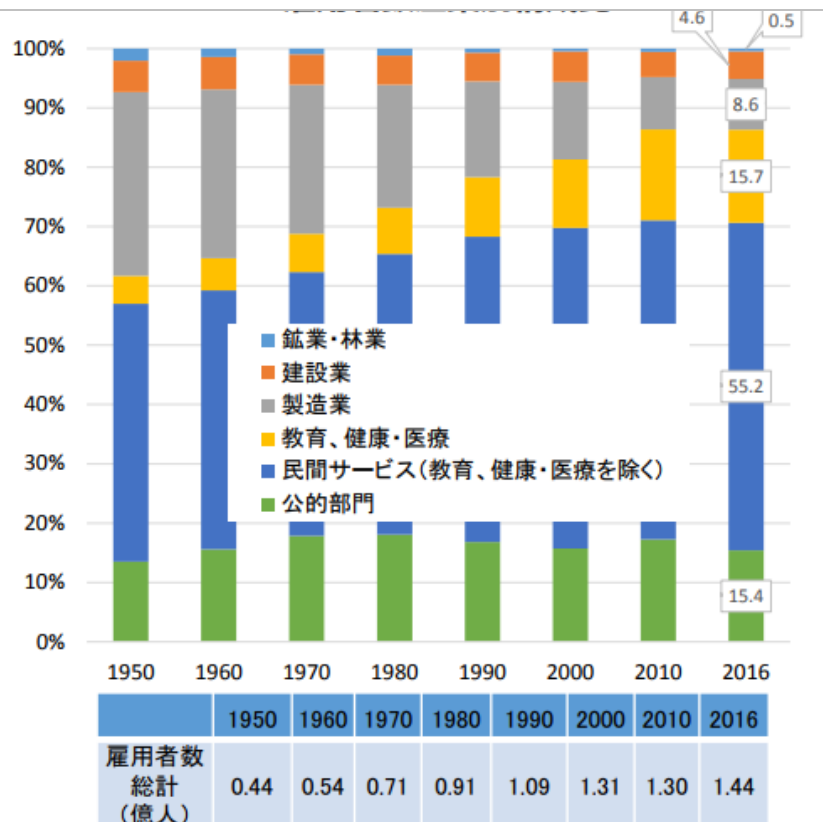
- 1) 米国の製造業はなぜ凋落したのか
- 2) イノベーション産業は雇用を創出できるのか
- 3) イノベーション産業が社会に与える影響は何か
- 4) イノベーション産業を引き付けるのは何か
- 5) 人々はなぜ好条件の都市に移住しないのか
- 6) 凋落した都市を再生するための要件は何か
- 7) 今後の都市はどうあるべきなのか

### 3.課題図書ダイジェスト

#### 1)米国の製造業はなぜ凋落したのか

グローバル化と技術の進歩が、米国において製造業の雇用を減少させた。

米国における製造業の労働者数推移



(備考)米国労働省により作成。非農業部門

想定される要因

- 途上国への生産拠点の移行  
例) リーバイ・ストラウスの工場移転
- 技術進歩による生産性の向上  
例) GMの生産性向上  
製造効率： 約7台/人 (1950年代)  
： 約28台/人 (2010年代)

長期的なトレンドが変わる材料はなし

### 3.課題図書ダイジェスト

## 2)イノベーション産業は雇用を創出できるのか

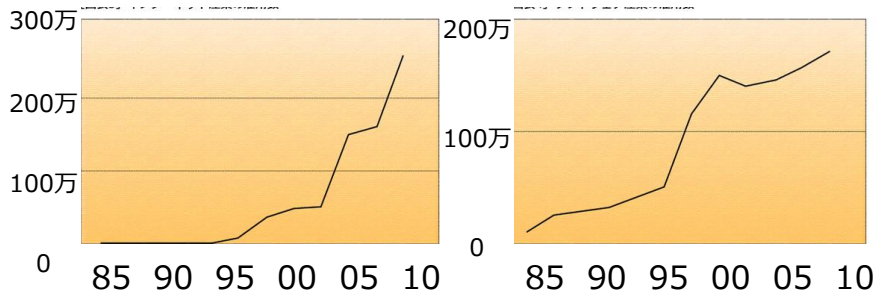
イノベーション産業は多くの雇用を創出するケイパビリティを持っている。

#### 米国のイノベーション産業の労働者推移

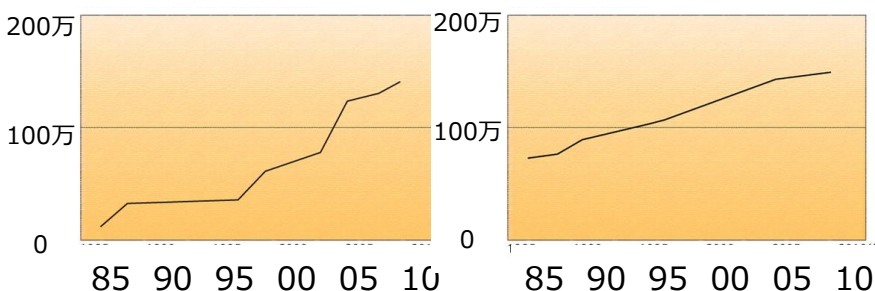
+

#### イノベーション産業である「乗数効果」

1)インターネット産業の雇用数 2) ソフトウェア産業の雇用数



3)サイエンス系研究開発雇用数 4) 製薬産業の雇用数



#### • 「貿易部門」\*1としての性質

- ✓ 他の「貿易部門」への賃金上昇効果
- ✓ 「非貿易部門」の雇用創出効果  
例) ヨガのインストラクター

#### • イノベーション産業は「貿易部門」の中でも「乗数効果」が高い

- ✓ 人材が高級取り
- ✓ 集積しやすい人材
- ✓ 労働集約的業務が発生

出典：County Business Patterns（アメリカ国勢調査局）

\*1：「貿易部門」とは生産地以外に商品・サービスを「輸出」できるものであり、「非貿易部門」は地産地消で「輸出」できないもの

### 3.課題図書ダイジェスト

#### 3)イノベーション産業が社会に与える影響は何か

イノベーション産業が特定の地域にのみ創出された結果、地域間における年収格差が広がった

##### シアトルとアルバカーキの「二都物語」

- 1970年当時、両都市の大卒者の割合や所得水準は同程度だった
- しかし、マイクロソフトのシアトルへの移転によって両都市の格差が急速に広がった
  - 経済発展の「発展が発展を招く」性質

##### 両都市の格差を生じさせた要因

- マイクロソフト社の移転
  - 他のハイテク企業の呼び込み
    - ✓ アマゾン・ドットコム
- 「卒業生」による新規ビジネスの創出
  - ✓ エクスペディア
  - ✓ リアルネットワークス



### 3.課題図書ダイジェスト

#### 4)イノベーション産業を引き付けるのは何か

都市は、イノベーション産業を引き付けるために、3つの要件を満たす必要がある。

#	要件	理由
1	厚みのある労働市場の創出	<ul style="list-style-type: none"><li>企業と求職者の双方の結びつきを簡易化</li><li>転職の容易化</li><li>失業時の「保険」</li><li>頭脳の集積化の相乗効果（ネットワークの外部性） 例）働き手の生産性向上、結婚相手の発見</li></ul>
2	ビジネスのエコシステムの存在	<ul style="list-style-type: none"><li>資金調達のしやすさ<ul style="list-style-type: none"><li>✓ベンチャーキャピタル</li></ul></li><li>専門サービスの受けやすさ<ul style="list-style-type: none"><li>✓法律事務所</li><li>✓研究所</li></ul></li></ul>
3	知識の伝播	<ul style="list-style-type: none"><li>新しいアイデアは真空地帯では創出不可能</li><li>特許の引用も地理的な制約有</li></ul>



イノベーション拠点の海外移転は困難

### 3.課題図書ダイジェスト

#### 5)人々はなぜ好条件の都市に移住しないのか

所得と文化の違いが移住に対する積極性に影響を及ぼす。更に不動産価格の高騰によって、低所得者が条件の良い都市に居住することが困難になった。

#### 移住しない人材の特徴

- 教育レベルが低い人材は肉体労働や非専門職等のローカル産業に就労
  1. 情報不足のため
  2. 能力不足のため
  3. 資金不足のため
- 親兄弟や友人等への文化的な結びつき
  - ✓ 米国人とヨーロッパ人の比較

#### 不動産価格の影響

不動産価格の高騰によって生活コストが高くなった結果、賃貸で暮らす低所得者が好条件の都市に居住することは困難になった。



都市の年収格差が更に拡大

### 3.課題図書ダイジェスト

#### 6)凋落した都市を再生するための要件は何か

地域再生の糸口はイノベーションハブにおける形成プロセスの再現可能性を検証することにある。

#### イノベーションハブ形成の鍵

- スター研究者召喚の経済効果は高
  - ✓ 知識伝播の恩恵を預かりたい企業や学者を呼び込むことが可能
  - ✓ スター研究者自身が有力新興企業の立ち上げに関与

例) ショックレーの存在⇒シリコンバレー誕生

#### 地域活性に結びついた事例

- エンパワーメントゾーンプログラム  
貧困地区向けに雇用を創出した企業に対する  
税制優遇措置と地区再開発のためのファンド
- <成功要因>
1. 集団行動問題の解決（外部性の解決）
    - ✓ 企業誘致→集客・雇用→犯罪率低下
  2. 特定の産業や企業に対するものではなく、  
分け隔てのない補助金支給
  3. 民間投資への波及
  4. 適切な対象に向けたインセンティブ設計
    - ✓ 失業率の高い地区のみ対象

### 3.課題図書ダイジェスト

#### 7)今後の都市はどうあるべきなのか

都市は人的資本の集積地となることで経済的成功を創出することができる。

#### 都市における経済的成功の要件

- 良質な雇用の創出源が製品の生産力から新しいアイデアの創出力へ移行
  - 都市間の競争対象が変化
    - 大企業の工場の呼び込み競争
    - 優秀な人材の獲得競争
- 優秀な人材の確保の方法
  - 自国民の教育
    - ✓ 大学就学の効果
  - 優秀な移民の受入
    - ✓ 起業率の高さ

#### ローカル・グローバル・エコノミーの時代

- 経済のグローバル化と共にローカル化も拡大
  - ✓ インターネットによって、モノや情報の世界中を巡るスピードが加速化
  - ✓ イノベーションは優秀な人材同士の対面コミュニケーションによって創出
    - 物理的な距離の近さが重要